

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき

特集●イマドキの子育て・孫育て

について

〜おじいちゃん、おばあちゃん、出番です!〜



『「やる?」「やって」押し付け合わずに「一緒にね!」』

『^{ひと}男と女 ^{ひと}認めて描く 未来地図』

『ありがとう 言って言われる 父母が好き』

(平成25年度 蒲郡男女共同参画川柳入賞作品)

第25号
2014.3

特集

イマドキの子育て・孫育てについて

～おじいちゃん、おばあちゃん、出番です!～

核家族化や共働き世帯の増加、世代間交流や地域のつながりの希薄化などにより、子育ては孤立化しがちです。イクメン(育児に積極的な男性)・カジダン(家事を率先して行っている男性)・共同メン(男女共同参画に積極的な男性)など、男女共同参画の推進のために、男性の家庭生活や地域生活への参画はもちろん、今、新たに「おじいちゃんとおばあちゃんの力」が注目されています。子育ての中心はあくまでパパとママですが、地域みんなで協力して子育てに関わること、とりわけ祖父母世代の方たちにご自分のお孫さんはもちろん、地域のじいじ、ばあばとして子育てや地域活動で活躍していただくことが期待されています。

平成25年9月28日(土)、男女共同参画推進講座「イマドキの子育て・孫育て」講座を開催しました。育児に積極的に関わる男性「イクメン」だけでなく、時代は育児のサポーター「イクジイ・イクバア」として、おじいちゃんとおばあちゃんを求めています。今と昔の子育ての違いや祖父母による孫育ての心構えなどについてお話をいただきました。

講師

棒田 明子さん

NPO法人孫育て・ニッポン理事長。WEBサイト「孫育て上手」「ユウchan」編集長。子育て・孫育て・た育での講演、プロジェクトを全国にて行う。ラジオ、テレビにも多数出演。著書「祖父母に孫をあずける賢い100の方法」「ママとパパも喜ぶ イマドキの幸せ孫育て」

子育ての「今」・「昔」 ～世代間ギャップ～

【昔】

- 母乳とミルク
- 断乳(1歳になると母乳やミルクはやめる)
- 白湯・果汁
- 泣いても抱き癖がつくので抱っこしない
- 離乳食(大人がかみ砕いて与える。大人が使ったはしやスプーンをそのまま使う)
- 日光浴をする
- おやつ類(大人が食べているものでも大丈夫…?)

【今】

- ⇒母乳推奨(免疫力やスキンシップ重視)
- ⇒卒乳(自然な乳離れを待つ)
- ⇒お風呂上りなどには母乳かミルク
- ⇒泣いたらすぐに抱っこ。スキンシップ重視
- ⇒離乳食の開始は遅め。(虫歯になるという理由から、大人がかみ砕いたり、大人が使ったはしなどは使わない)
- ⇒外出時は日焼け止めなど紫外線対策
- ⇒おやつ類は月齢にあったものを与える。アレルギーがあるかもしれないので、親が与えているものなら安心。



孫とのつき合い方

《イマドキの子どもの特徴》

- 歩かない
- 遊びはテレビやゲームが主流
- 夜型が増えている。食生活が乱れている。
- 我慢できない など

《つき合い方のポイント》

- 自分のお金と時間と体力と相談して頑張りすぎない
- 叱るのは、命に危険があるときと他人に迷惑をかける行動をしたとき
- 祖父母ならではの心と時間の余裕で、心のコップをやさしさと愛でいっぱいしよう



～なぜ、今「孫育て」が重要なのか～

(1) 社会環境の変化、子育ての重圧感

核家族が増えて、相談する相手や頼れる人が身近におらず親世代は無理をしまいがち。子育ての重圧感は増すばかり。

(2) 子育て・家事・仕事の負担

出産前に小さな子どもに触れる機会がほとんどなく、育児そのものが未知の世界である。男女ともに家事に不慣れな人が多く、働く女性の増加に伴い、家事、育児、仕事の負担が大きい。

(3) 親世代と子どもの空間・時間の違い

消費や効率、利益を最優先と考える親世代は忙しくて、子どもの世界や時間の流れに合わせるのが困難。祖父母世代の時間の流れは子どもの世界と合う。

そこで



おじいちゃん、おばあちゃんの出番です!

親は子育ての方針を決める**最終責任者**

祖父母は孫や親の心のオアシスとなり、**サポート**する立場



「た育て」のススメ

現代は「個育て」「孤育て」といわれているが、地域で子育て・孫育てをするために、**多くの人**が関わって、**他人の子ども**も一緒に、**楽しく**子育てする「**た育て**」をしよう!

講座受講者の感想(抜粋)



- パパママ世代へ、祖父母や地域のサポートを受け入れる気持ちをもってほしい。祖父母は待っていることが多いと思う。「た育て」を進めることが大事だと思う。(60歳代女性)
- 現在の子育ての様子がよく分かった。社会の変わりようを理解しながら孫育てに協力したいと思う。(60歳代女性)
- たくさんの人たちと関わりをもって楽しく子育てしていきたいと思う。(40歳代女性)
- 孫、親のサポートを、あまりでしゃばらないように上手くしていきたい。(50歳代女性)
- まさにイマドキの今日的課題である講座開催に感謝している。世代間ギャップには驚いた。子育てと孫育てについて楽しく学ぶことができた。(60歳代女性)

